

「第49回滋賀県政世論調査」の結果について

1. 調査の目的

県政全体に関する満足度と県政の当面する主要課題等をテーマに選び、県民の意識・意向を調査し、今後の県政を進めるうえでの基礎資料とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の20歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000人(県内在住外国人を含む)
- (3) 調査時期 平成28年6月2日～6月20日
- (4) 調査方法 郵送式・オンライン調査法の併用(今年度初めてインターネット回答を導入しました。)
- (5) 調査項目
 - ① 県政全体に関する満足度 (企画調整課)
 - ② 県の広報・広聴活動 (広報課)
 - ③ 原子力災害時の行動について (防災危機管理局)
 - ④ 「しがエネルギービジョン」について (エネルギー政策課)
 - ⑤ ICTの利活用について (情報政策課)
 - ⑥ 琵琶湖の保全および再生について (琵琶湖保全再生課)
 - ⑦ 子どもたちへの教育について (教育総務課 学校支援課 幼小中教育課)

3. 調査票回収結果について

有効回収数(有効回収率) : 1,557人(51.9%) <H27年度 1,561人(52.0%)>

※有効回収数(郵送+オンライン)に占めるネット回答の割合 15.6%

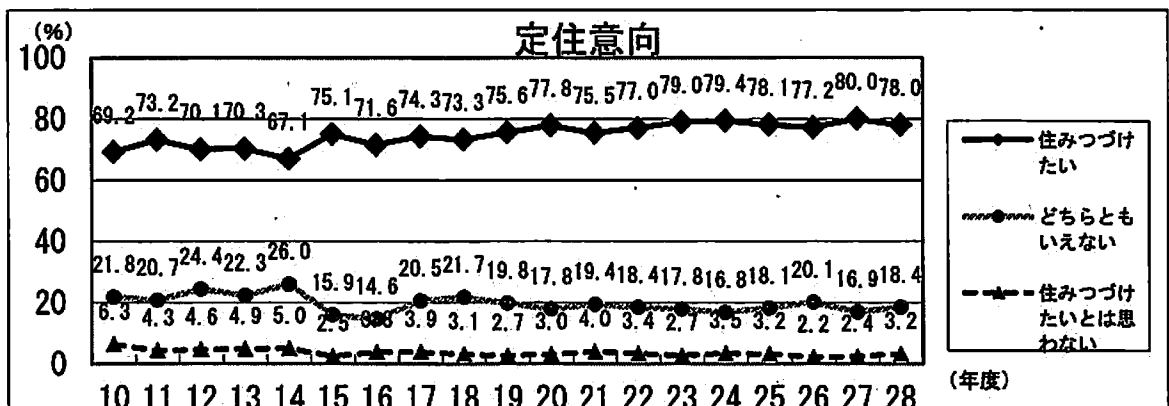
※回答者のうち20歳代が8.3%(昨年度より1.2ポイント増加)、70歳以上が24.3%

(昨年度より8.4ポイント増加)

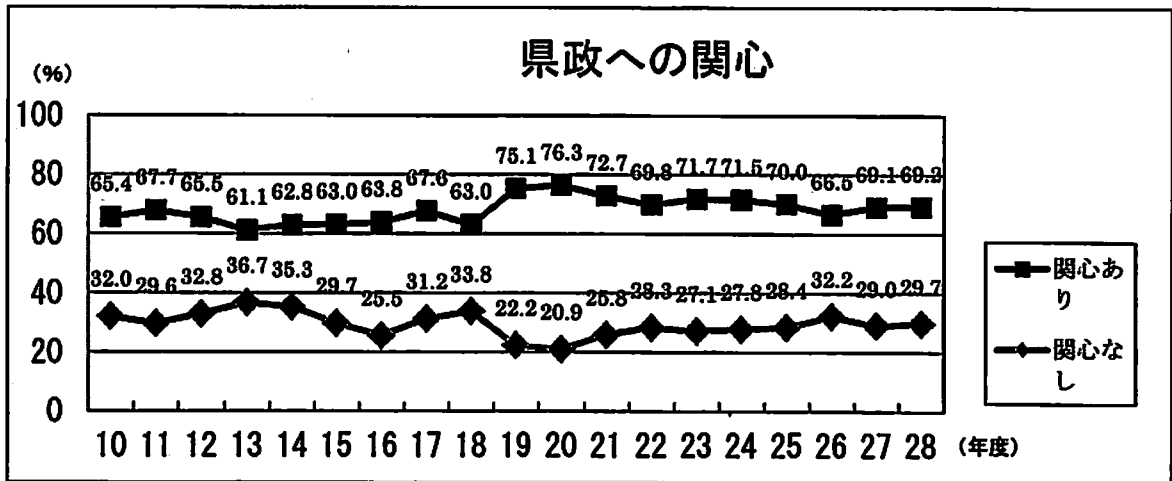
4. 主な調査結果

(1) 県政全体に関する満足度 報告書P9～

・定住意向では、これからも滋賀県に「住みつづけたい」が78.0%で、平成27年度の80.0%をやや下回ったものの、引き続き高い値となった。【別表1、2】



- ・県政への関心度では、『関心あり』が69.2%で、平成27年度の69.1%から微増した。およそ7割の人が関心を持っているのが近年の傾向になっている。【別表3】



- ・県の施策に対する『満足度』では、平成27年度調査と同じく「身近なところで自然と触れあえる環境の整備」が42.5%で最も高く、次いで「食の安全確保」が37.8%となった。一方、『不満度』では、「自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備」が50.5%で最も高く、次いで「地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全」が34.1%となった。【別表4、5】
- ・力を入れてほしい県の施策では、「自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備」が19.1%で最も高く、次いで「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」が17.3%、「安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり」が15.0%、「地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全」が14.9%となった。【別表6、7】

(2) 県の広報・広聴活動 報告書 P46～

- ・県の広聴活動への要望では、「インターネット・手紙・FAXなどによる意見等の募集」が37.0%で最も高く、次いで「知事や県職員が県民の皆さんと直接対話を行う機会の提供」が36.7%となった。性・年代別でみると、若い世代は「インターネット・手紙・FAXなどによる意見等の募集」への要望が高く、高齢者層では「知事や県職員が県民の皆さんと直接対話を行う機会の提供」への要望が高くなっている。直近、3年間の調査結果でもこれらの要望は高く、引き続き、様々な方法により、誰もが気軽に県へご意見・ご提案を伝えていただけるよう、引き続き取り組んでいく必要がある。
- ・県施策等の情報の入手方法では、「広報誌「滋賀プラスワン」」が58.7%で最も高く、次いで「新聞」が56.7%となっている。これらのことから、広報誌のさらなる内容の充実とプレスへの的確な対応、県民のニーズを反映した情報提供の必要性が高いといえる。
- ・県の広報の認知度では、「広報誌「滋賀プラスワン」」が『閲読率』60.7%、『認知率』84.7%で最も高く、次いで「県議会広報紙「滋賀県議会だより」」が『閲読率』35.5%、『認知率』75.8%となっている。一方、「滋賀県ホームページ」と「テレビ番組「テレビ滋賀プラスワン」の『認知率』は、それぞれ67.5%、64.0%と高いが、『閲読率』は12.7%、18.7%とその差が大きく、認知はされているものの視聴に結びつきにくい傾向がうかがえる。【別表8】

(3) 原子力災害時の行動 報告書 P80～

- ・原子力発電所の安全対策や防災対策は十分だと思うかでは、『思う』が 11.9%、『思わない』が 76.1%で、安全対策や防災対策が十分だと思わない人が、思う人を大きく上回っている。対策が十分だと思わない理由は、「自然災害などにより何が起こるかわからないから」が 71.8%で最も高く、次いで、「万が一事故が起これば、広域かつ長期的に影響がおよぶから」が 65.8%、「事業者の原子力発電所の安全対策に不安を感じるから」が 60.9%となった。

(4) 「しがエネルギービジョン」 報告書 P93～

- ・「原発に依存しない新しいエネルギー社会」実現のために重点的に取り組むべきことでは、「エネルギー関連の技術開発の促進」が 33.3%で最も高く、次いで「省エネ型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着」が 26.4%となった。

(5) ICTの利活用 報告書 P110～

- ・居住地で充実・改善してほしいICTでは、「無料Wi-Fiの提供場所」が 29.7%で最も高く、次いで「インターネット通信回線の高速化」が 23.5%、「携帯電話やスマートフォンの高速化」が 21.7%となった。

(6) 琵琶湖の保全および再生 報告書 P131～

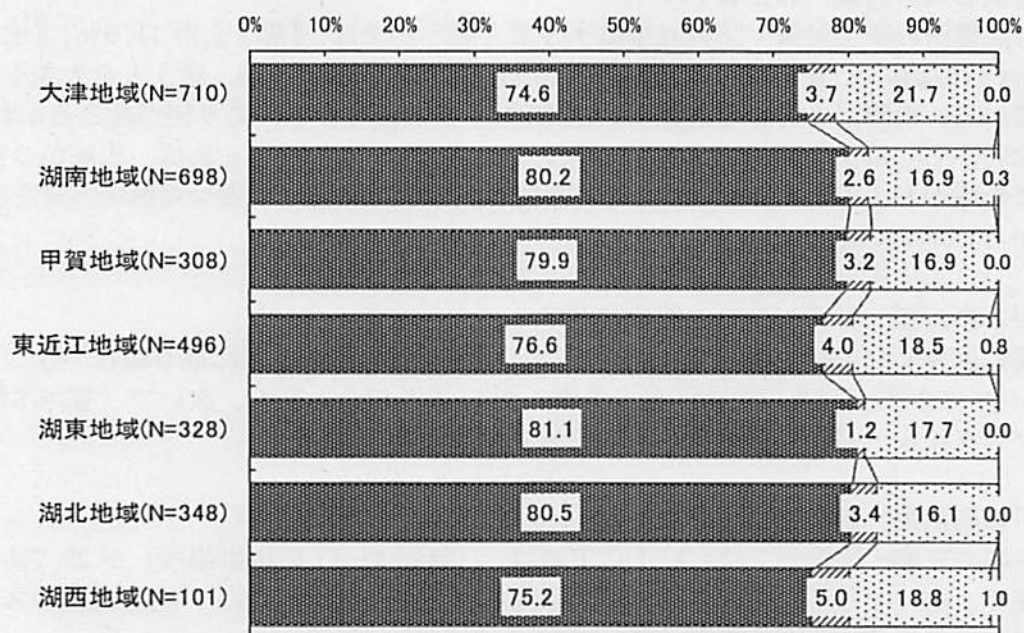
- ・琵琶湖を保全・再生していくために特に力を入れるべき取り組みでは、「琵琶湖の水質改善」が 49.0%で最も高く、次いで「ブラックバスやブルーギルなど外来生物対策」が 35.0%、「琵琶湖の水の水源となる森林の整備・保全」が 31.2%となった。

(7) 子どもたちへの教育 報告書 P144～

- ・「子どもたちの学ぶ力の向上」のための具体的な取り組みの内、重要と思うものでは、「読書活動の充実」が 48.1%で最も高く、次いで「基礎的・基本的な知識技能の習得」が 45.8%となった。また、「教員の教科指導力の向上」、「言語活動の充実」についても4割以上の方が重要だと回答した。

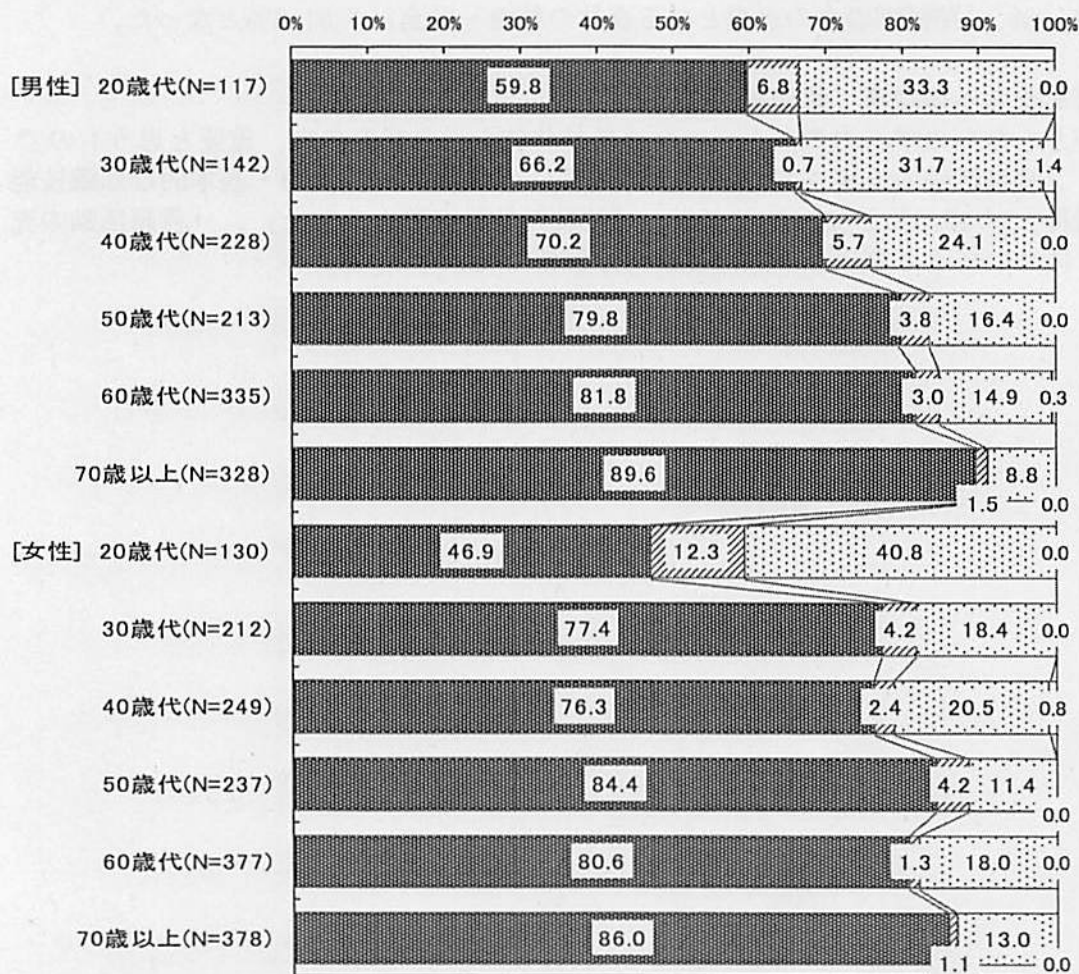
滋賀県への定住意向
(地域別)

【別表1】



■ 住みつけたい ▨ 住みつけたいとは思わない ▩ どちらともいえない □ 不明・無回答

(性・年代別)

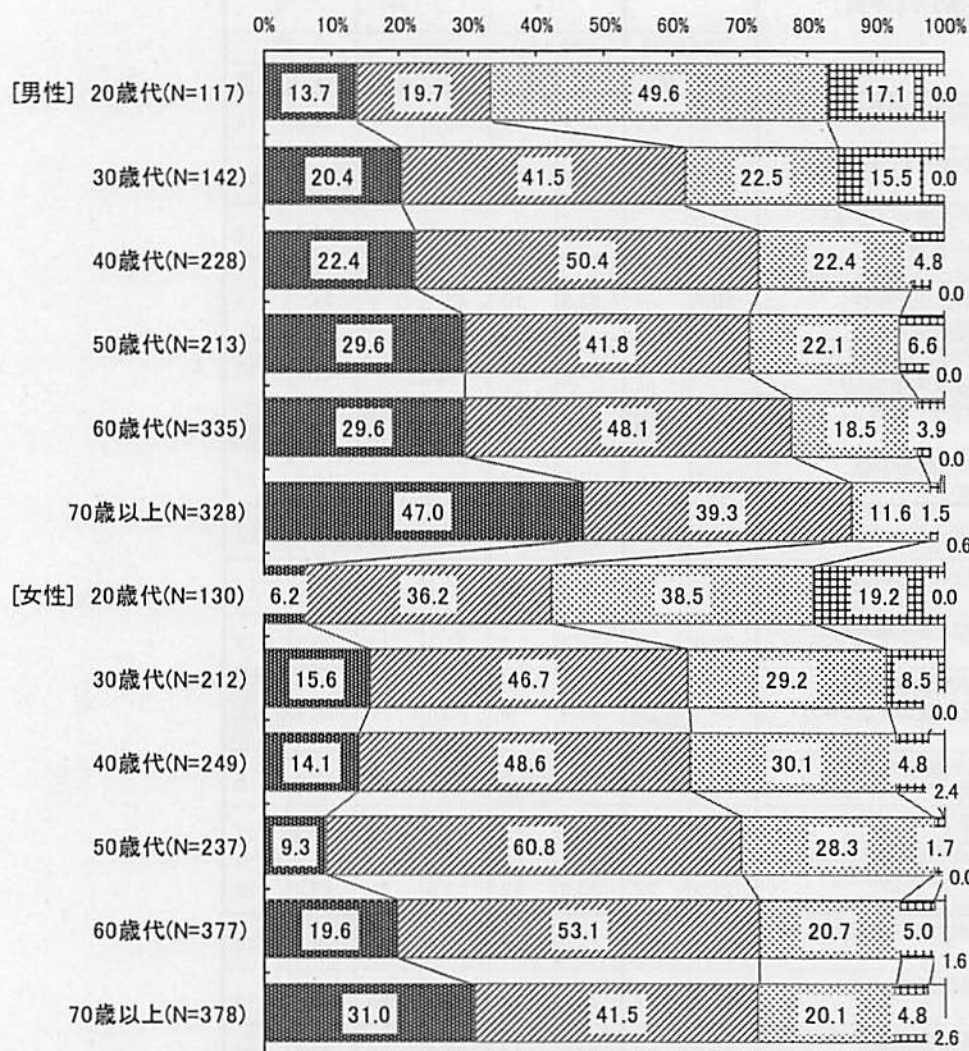


■ 住みつけたい ▨ 住みつけたいとは思わない ▩ どちらともいえない □ 不明・無回答

不満度 「どちらかといえば不満」+「不満」		今回調査 (N=3,001)		問6 定住意向							
				た住 いみ つづ げ		思た住 わいみ なとつ いはづ げ		いど えち なら いと も			
				(N=2,342)		(N=95)		(N=551)			
				%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
ひと	1	子どもの生きる力を育むきめ細かな教育環境の整備	21.2	23	19.2	24	45.3	7	25.8	14	
	2	子どもへの職業教育やキャリア教育の充実	23.6	17	22.2	18	51.6	4	25.4	15	
	3	子育て支援サービスの充実や、母子・小児の保健医療体制の整備	24.0	14	23.3	15	42.1	11	24.0	19	
	4	仕事と家庭や地域活動との両立を可能にするために必要な制度の充実や、保育所などの社会基盤の整備	29.4	7	27.5	10	48.4	6	34.5	6	
	5	障害のある人や高齢者などの暮らしを支える仕組みづくりと活躍の場づくり	29.2	8	28.3	7	42.1	11	31.4	10	
	6	在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	31.7	4	29.8	4	50.5	5	36.5	5	
	7	健康寿命を延ばすため予防を中心とした健康づくりの推進	18.3	26	17.5	27	38.9	15	18.3	27	
地域の活力	8	文化やスポーツを楽しめるまちづくり	22.1	21	21.0	21	43.2	10	23.4	22	
	9	子どもや高齢者など世代を超えた交流を活発にする取組	23.7	16	22.4	17	45.3	7	26.0	13	
	10	職業訓練や雇用創出など働く場への参加の支援	29.0	9	28.3	7	41.1	13	29.9	12	
	11	歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興と滋賀のブランド力の向上	31.5	5	29.4	6	35.8	16	39.9	2	
	12	環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	30.1	6	29.6	5	27.4	21	32.8	8	
	13	モノづくり産業や、多様なニーズに対応した商業・サービス業の振興	24.1	13	22.2	20	33.7	17	30.3	11	
	14	産学官金民連携や農商工連携など、相乗効果の高い産業の振興	21.5	22	20.8	22	31.6	20	23.2	23	
自然・環境	15	身近なところで自然と触れあえる環境の整備	20.3	25	19.0	25	27.4	21	24.3	18	
	16	県民が暮らしの中で琵琶湖をもっと身近に感じる取組	25.1	12	25.2	12	22.1	25	25.4	15	
	17	環境学習を通じた環境保全活動や森林づくりなどの担い手づくり	23.9	15	23.8	13	27.4	21	23.6	20	
	18	琵琶湖流域をはじめとした水環境や生物多様性の保全・再生	20.8	24	19.3	23	33.7	17	25.0	17	
	19	美しい田園や緑豊かな森林の維持	22.4	20	22.5	16	16.8	28	22.9	24	
	20	環境への負荷が少ない低炭素社会への転換	18.2	27	17.8	26	22.1	26	19.8	26	
	21	再生可能エネルギーの活用など、新しいエネルギー社会づくり	23.4	18	23.8	14	25.3	24	21.6	25	
	22	廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進	22.7	19	22.2	18	33.7	19	23.4	21	
県土安全・安心	23	食の安全確保	11.8	28	11.7	28	18.9	27	11.4	28	
	24	自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	50.5	1	48.9	1	63.2	1	55.7	1	
	25	人やものが行き交う広域交通ネットワークの形成	32.8	3	30.7	3	61.1	2	36.8	4	
	26	安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり	28.8	10	27.5	9	44.2	9	31.8	9	
	27	道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保全管理	28.1	11	25.8	11	52.6	3	33.8	7	
	28	地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全	34.1	2	33.1	2	40.0	14	37.6	3	

県政への関心（性・年代別）

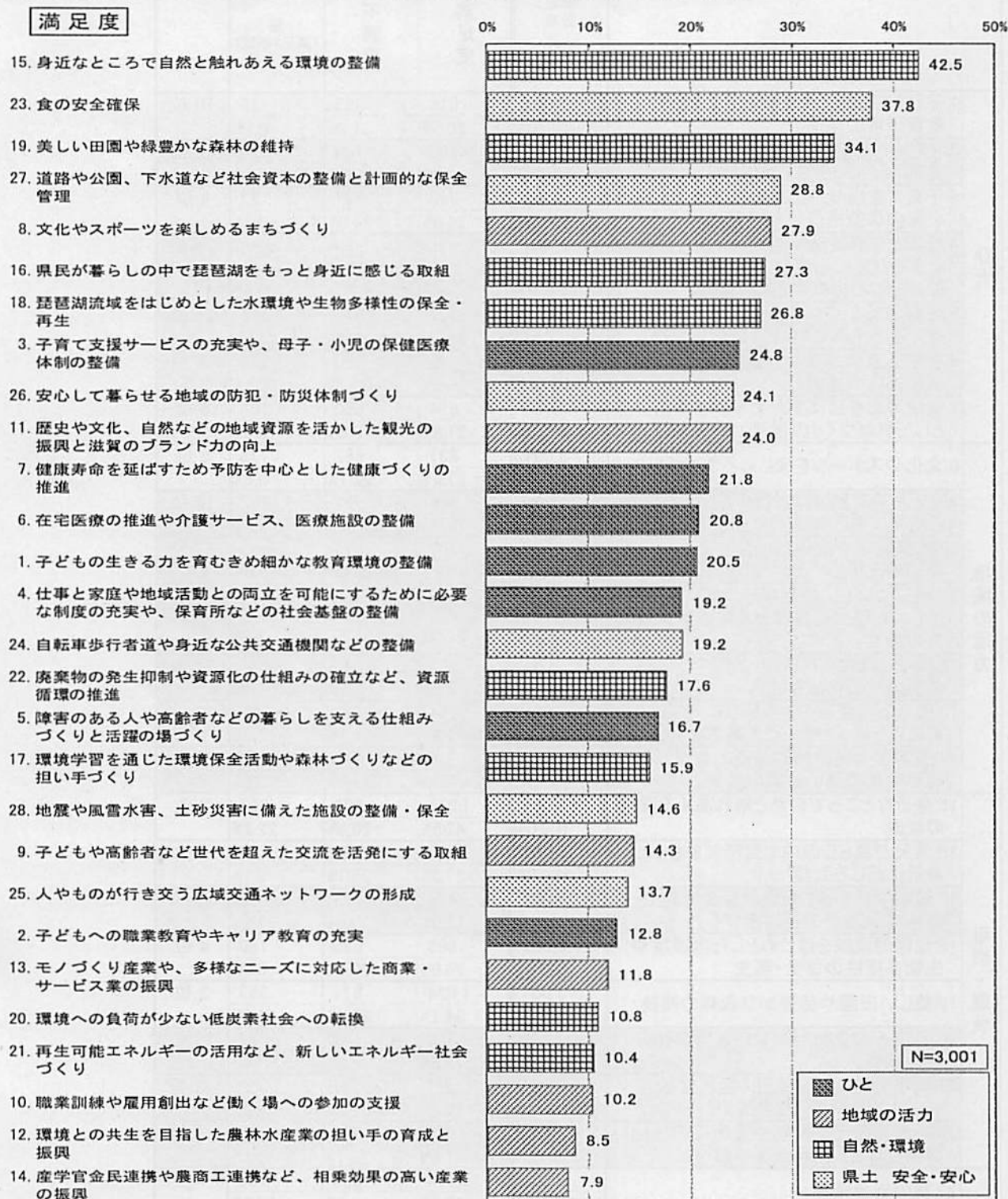
【別表3】



『関心あり』	『関心なし』
33.3%	66.7%
62.0%	38.0%
72.8%	27.2%
71.4%	28.6%
77.6%	22.4%
86.3%	13.1%
42.3%	57.7%
62.3%	37.7%
62.7%	34.9%
70.0%	30.0%
72.7%	25.7%
72.5%	24.9%

■ 関心がある ▨ まあまあ関心がある ▩ あまり関心がない ▧ 関心がない □ 不明・無回答

満足度（「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合）の高い施策



(参考) H27年度

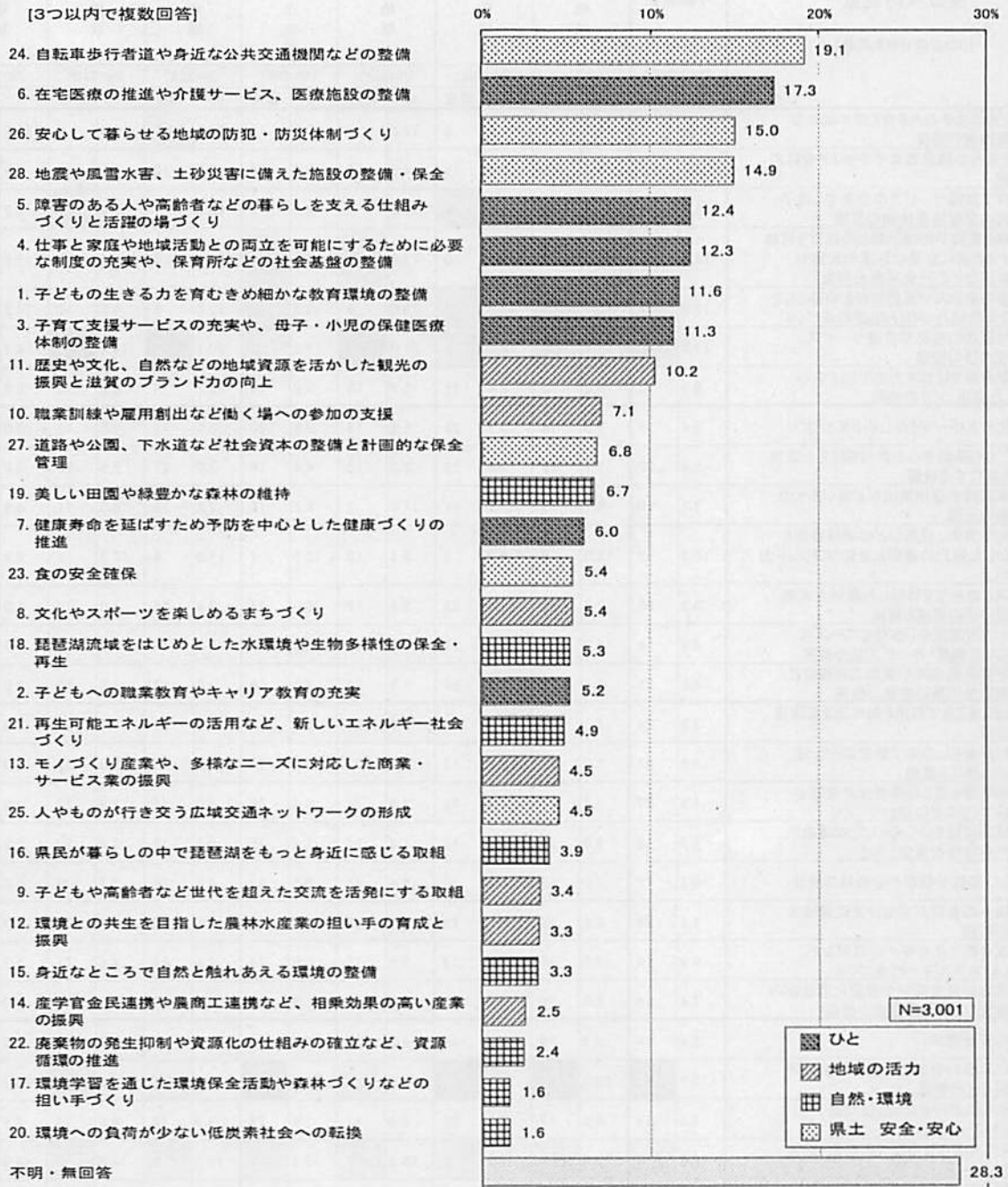
① 身近なところで自然と触れあえる環境の整備	48.7%
② 食の安全確保	38.3%
③ 美しい田園や緑豊かな森林の維持	36.2%
④ 文化やスポーツを楽しめるまちづくり	30.9%
⑤ 道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保安全管理	30.8%

		(規 正 標 本 数)	満 足 度	不 満 度	差 (満足-不満)	
ひと	1.子どもの生きる力を育むきめ細かな教育環境の整備	3,001	616	635	-19	10位
		100.0%	20.5%	21.2%	-0.6%	
	2.子どもへの職業教育やキャリア教育の充実	3,001	383	709	-326	19位
		100.0%	12.8%	23.6%	-10.9%	
	3.子育て支援サービスの充実や、母子・小児の保健医療体制の整備	3,001	743	721	22	8位
		100.0%	24.8%	24.0%	0.7%	
	4.仕事と家庭や地域活動との両立を可能にするために必要な制度の充実や、保育所などの社会基盤の整備	3,001	575	882	-307	17位
	100.0%	19.2%	29.4%	-10.2%		
5.障害のある人や高齢者などの暮らしを支える仕組みづくりと活躍の場づくり	3,001	501	876	-375	21位	
	100.0%	16.7%	29.2%	-12.5%		
6.在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	3,001	625	950	-325	18位	
	100.0%	20.8%	31.7%	-10.8%		
7.健康寿命を延ばすため予防を中心とした健康づくりの推進	3,001	654	550	104	6位	
	100.0%	21.8%	18.3%	3.5%		
地域の活力	8.文化やスポーツを楽しめるまちづくり	3,001	837	662	175	5位
		100.0%	27.9%	22.1%	5.8%	
	9.子どもや高齢者など世代を超えた交流を活かす取組	3,001	429	711	-282	16位
		100.0%	14.3%	23.7%	-9.4%	
	10.職業訓練や雇用創出など働く場への参加の支援	3,001	307	870	-563	24位
		100.0%	10.2%	29.0%	-18.8%	
	11.歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興と並みのブランド力の向上	3,001	721	944	-223	14位
		100.0%	24.0%	31.5%	-7.4%	
12.環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	3,001	255	902	-647	27位	
	100.0%	8.5%	30.1%	-21.6%		
13.モノづくり産業や、多様なニーズに対応した商業・サービス業の振興	3,001	354	722	-368	20位	
	100.0%	11.8%	24.1%	-12.3%		
14.産学官金民連携や農商工連携など、相乗効果の高い産業の振興	3,001	236	645	-409	23位	
	100.0%	7.9%	21.5%	-13.6%		
自然・環境	15.身近なところで自然と触れあえる環境の整備	3,001	1,275	608	667	2位
		100.0%	42.5%	20.3%	22.2%	
	16.県民が暮らしの中で琵琶湖をもっと身近に感じる取組	3,001	818	754	64	7位
		100.0%	27.3%	25.1%	2.1%	
	17.環境学習を通じた環境保全活動や森林づくりなどの担い手づくり	3,001	478	716	-238	15位
		100.0%	15.9%	23.9%	-7.9%	
	18.琵琶湖流域をはじめとした水環境や生物多様性の保全・再生	3,001	805	625	180	4位
		100.0%	26.8%	20.8%	6.0%	
	19.美しい田園や緑豊かな森林の維持	3,001	1,024	671	353	3位
	100.0%	34.1%	22.4%	11.8%		
20.環境への負荷が少ない低炭素社会への転換	3,001	325	547	-222	13位	
	100.0%	10.8%	18.2%	-7.4%		
21.再生可能エネルギーの活用など、新しいエネルギー社会づくり	3,001	311	701	-390	22位	
	100.0%	10.4%	23.4%	-13.0%		
22.廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進	3,001	529	681	-152	12位	
	100.0%	17.6%	22.7%	-5.1%		
県土安全・安心	23.食の安全確保	3,001	1,134	354	780	1位
		100.0%	37.8%	11.8%	26.0%	
	24.自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	3,001	575	1,517	-942	28位
		100.0%	19.2%	50.5%	-31.4%	
	25.人やものが行き交う広域交通ネットワークの形成	3,001	412	984	-572	25位
		100.0%	13.7%	32.8%	-19.1%	
26.安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり	3,001	724	864	-140	11位	
	100.0%	24.1%	28.8%	-4.7%		
27.道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保全管理	3,001	865	844	21	9位	
	100.0%	28.8%	28.1%	0.7%		
28.地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全	3,001	439	1,024	-585	26位	
	100.0%	14.6%	34.1%	-19.5%		

満足度の差(満足-不満)が高い項目(5%以上)
 満足度の差(満足-不満)が中位の項目(5%~-5%)
 満足度の差(満足-不満)が低い項目(-5%以下)

力を入れてほしい県の施策

【別表6】



(参考) H27年度

① 自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	19.5%
② 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	19.1%
③ 安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり	15.7%
④ 子どもの生きる力を育むきめ細かな教育環境の整備	15.1%
⑤ 仕事と家庭や地域活動との両立を可能にするために必要な制度の充実や、保育所などの社会基盤の整備	13.4%

(地域別)

県政への要望 [3つ以内で複数回答]		今回調査		地域別															
				大津地域		湖南地域		甲賀地域		東近江地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域			
				(N=3,001)		(N=710)		(N=698)		(N=308)		(N=496)		(N=328)		(N=348)		(N=101)	
				%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
ひと	1	子どもの生きる力を育むきめ細かな教育環境の整備	11.6	7	12.1	6	11.5	6	12.3	7	10.5	7	14.6	3	9.8	8	10.9	7	
	2	子どもへの職業教育やキャリア教育の充実	5.2	17	3.7	19	5.7	15	4.5	17	3.6	20	9.8	10	5.7	14	6.9	13	
	3	子育て支援サービスの充実や、母子・小児の保健医療体制の整備	11.3	8	10.4	9	13.5	4	11.0	8	8.5	9	13.4	7	12.6	5	6.9	13	
	4	仕事と家庭や地域活動との両立を可能にするために必要な制度の充実や、保育所などの社会基盤の整備	12.3	6	11.5	7	10.6	8	13.6	5	14.1	4	14.0	6	12.1	6	11.9	6	
	5	障害のある人や高齢者などの暮らしを支える仕組みづくりと活躍の場づくり	12.4	5	12.7	5	12.9	5	13.0	6	13.3	5	12.2	8	8.6	10	14.9	3	
	6	在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	17.3	2	16.1	2	15.5	3	24.0	1	14.5	3	20.7	1	18.4	1	14.9	3	
	7	健康寿命を延ばすため予防を中心とした健康づくりの推進	6.0	13	6.2	12	5.4	17	5.2	15	5.6	14	6.7	14	6.9	13	8.9	8	
地域の活力	8	文化やスポーツを楽しめるまちづくり	5.4	15	5.6	14	3.7	22	5.8	14	3.6	20	8.5	11	7.5	12	5.0	18	
	9	子どもや高齢者など世代を超えた交流を活かす取組	3.4	22	3.1	22	2.6	23	5.2	15	4.4	18	3.0	21	2.9	22	3.0	20	
	10	職業訓練や雇用創出など働く場への参加の支援	7.1	10	5.1	15	7.7	11	11.0	8	5.2	16	7.9	12	8.0	11	6.9	13	
	11	歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興と滋賀のブランド力の向上	10.2	9	11.0	8	9.7	9	9.1	10	10.5	7	11.0	9	10.3	7	8.9	8	
	12	環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	3.3	23	2.3	26	2.0	25	3.9	19	6.9	11	2.4	24	4.0	19	1.0	26	
	13	モノづくり産業や、多様なニーズに対応した商業・サービス業の振興	4.5	19	4.2	17	5.4	17	3.9	19	3.2	23	3.7	19	5.2	16	7.9	11	
	14	産学官金民連携や農商工連携など、相乗効果の高い産業の振興	2.5	25	3.1	22	1.4	27	1.3	27	4.4	18	1.8	27	2.3	25	3.0	20	
自然・環境	15	身近なところで自然と触れあえる環境の整備	3.3	24	3.1	22	4.0	20	2.6	24	5.2	16	3.0	21	1.1	27	0.0	27	
	16	県民が暮らしの中で琵琶湖をもっと身近に感じる取組	3.9	21	3.7	19	4.6	19	3.2	22	3.6	20	5.5	17	2.9	22	2.0	25	
	17	環境学習を通じた環境保全活動や森林づくりなどの担い手づくり	1.6	27	1.7	27	1.1	28	2.6	24	0.4	28	2.4	24	2.9	22	0.0	27	
	18	琵琶湖流域をはじめとした水環境や生物多様性の保全・再生	5.3	16	6.8	11	8.0	10	1.3	27	2.4	25	6.1	16	3.4	20	5.9	16	
	19	美しい田園や緑豊かな森林の維持	6.7	12	7.0	10	5.7	15	8.4	11	6.0	13	4.9	18	9.8	8	5.0	18	
	20	環境への負荷が少ない低炭素社会への転換	1.6	28	1.4	28	2.0	25	1.9	26	1.6	26	1.2	28	0.6	28	3.0	20	
	21	再生可能エネルギーの活用など、新しいエネルギー社会づくり	4.9	18	4.5	16	6.3	13	3.9	19	5.6	14	2.4	24	4.6	17	5.9	16	
22	廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進	2.4	26	2.5	25	2.6	23	3.2	22	1.6	26	3.0	21	1.7	26	3.0	20		
県土安全・安心	23	食の安全確保	5.4	14	3.7	19	6.0	14	4.5	17	6.5	12	7.3	13	5.7	14	3.0	20	
	24	自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	19.1	1	20.3	1	20.1	1	19.5	2	20.6	1	14.6	3	13.8	3	26.7	2	
	25	人やものが行き交う広域交通ネットワークの形成	4.5	19	4.2	17	4.0	20	8.4	11	2.8	24	3.7	19	4.6	17	8.9	8	
	26	安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり	15.0	3	13.2	4	18.1	2	16.2	3	13.3	5	15.2	2	13.8	3	14.9	3	
	27	道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保全管理	6.8	11	6.2	12	7.7	11	7.8	13	8.1	10	6.7	14	3.4	20	7.9	11	
	28	地震や風雪災害、土砂災害に備えた施設の整備・保全	14.9	4	14.4	3	10.9	7	14.3	4	16.9	2	14.6	3	17.8	2	30.7	1	

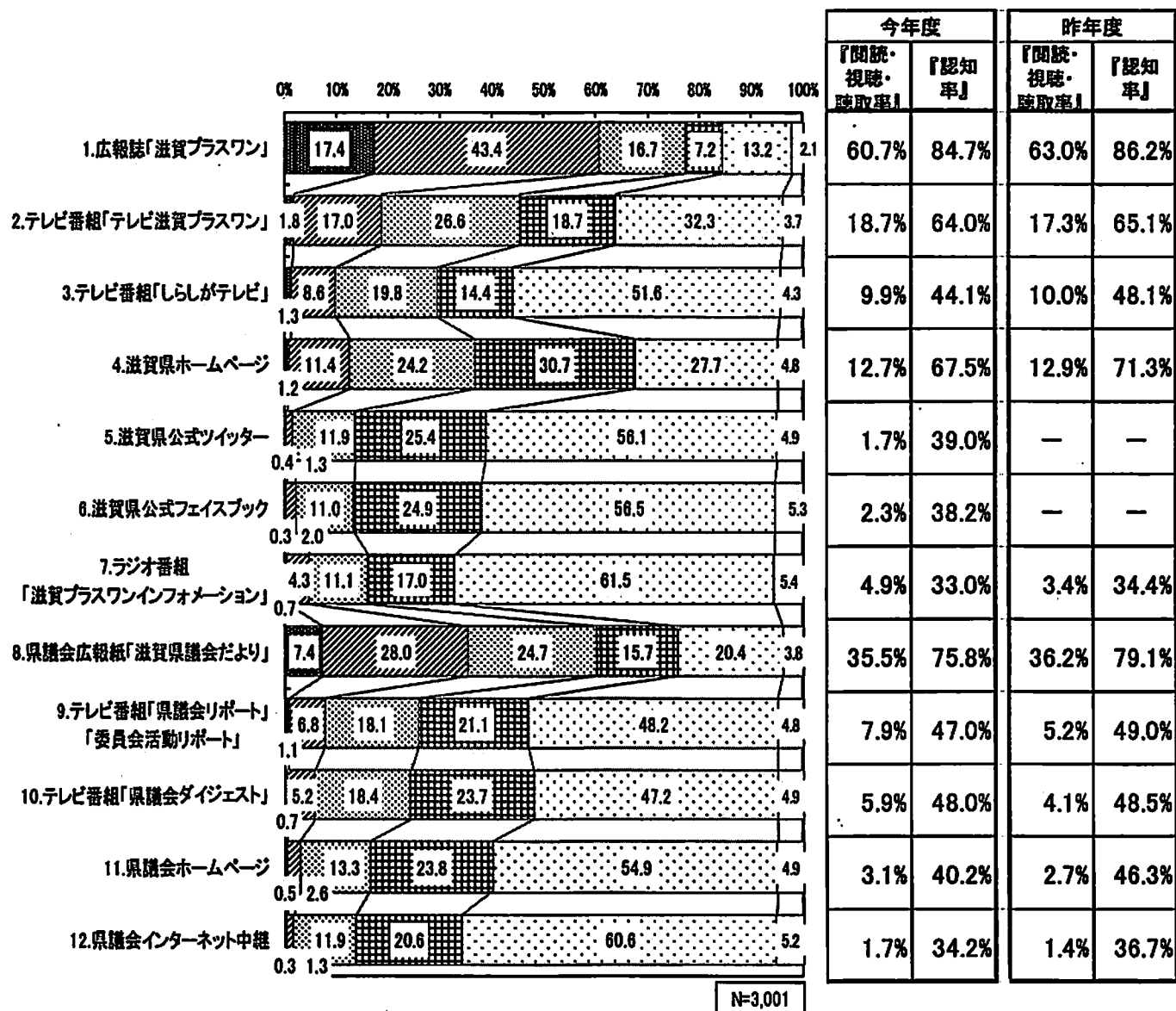
(男性・年代別)

県政への要望 [3つ以内で複数回答]		今回調査		性・年代別—男性													
				20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上			
				(N=3,001)		(N=117)		(N=142)		(N=228)		(N=213)		(N=335)		(N=328)	
				%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
ひと	1	子どもの生きる力を育むきめ細かな教育環境の整備	11.6	7	17.9	4	23.2	1	16.7	5	8.9	9	5.4	14	7.3	8	
	2	子どもへの職業教育やキャリア教育の充実	5.2	17	1.7	23	13.4	7	17.1	4	3.8	20	1.5	28	0.6	28	
	3	子育て支援サービスの充実や、母子・小児の保健医療体制の整備	11.3	8	12.0	10	21.1	2	12.7	8	7.5	14	5.1	16	3.7	18	
	4	仕事と家庭や地域活動との両立を可能にするために必要な制度の充実や、保育所などの社会基盤の整備	12.3	6	19.7	3	19.0	3	7.5	14	8.5	11	9.0	7	6.7	10	
	5	障害のある人や高齢者などの暮らしを支える仕組みづくりと活躍の場づくり	12.4	5	12.0	10	15.5	4	11.0	10	8.5	11	10.4	4	11.6	3	
	6	在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	17.3	2	4.3	18	12.7	8	15.4	6	22.1	1	12.8	2	11.0	4	
	7	健康寿命を延ばすため予防を中心とした健康づくりの推進	6.0	13	1.7	23	2.8	22	6.6	16	2.8	22	5.1	16	9.8	5	
地域の活力	8	文化やスポーツを楽しめるまちづくり	5.4	15	20.5	2	7.0	14	8.3	12	7.5	14	4.2	21	4.9	14	
	9	子どもや高齢者など世代を超えた交流を活発にする取組	3.4	22	0.9	25	2.8	22	2.6	24	4.7	19	3.6	22	5.8	11	
	10	職業訓練や雇用創出など働く場への参加の支援	7.1	10	9.4	12	6.3	15	6.6	16	7.5	14	8.7	8	1.5	27	
	11	歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興と滋賀のブランド力の向上	10.2	9	13.7	9	10.6	10	13.6	7	17.4	3	9.6	5	13.7	2	
	12	環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	3.3	23	3.4	20	4.2	20	5.3	18	2.8	22	4.5	20	4.9	14	
	13	モノづくり産業や、多様なニーズに対応した商業・サービス業の振興	4.5	19	16.2	6	4.9	17	9.6	11	7.5	14	5.1	16	2.4	21	
	14	産学官金民連携や農商工連携など、相乗効果の高い産業の振興	2.5	25	6.8	15	2.8	22	1.8	27	3.8	20	3.0	23	1.8	23	
自然・環境	15	身近なところで自然と触れあえる環境の整備	3.3	24	6.8	15	4.2	20	5.3	18	2.8	22	2.4	24	1.8	23	
	16	県民が暮らしの中で琵琶湖をもっと身近に感じる取組	3.9	21	0.0	26	2.8	22	3.5	21	2.8	22	4.8	19	4.3	16	
	17	環境学習を通じた環境保全活動や森林づくりなどの担い手づくり	1.6	27	3.4	20	2.8	22	3.5	21	0.0	28	1.8	25	3.7	18	
	18	琵琶湖流域をはじめとした水環境や生物多様性の保全・再生	5.3	16	5.1	17	4.9	17	8.3	12	10.8	6	8.1	11	5.2	13	
	19	美しい田園や緑豊かな森林の維持	6.7	12	8.5	13	9.2	12	3.5	21	10.3	7	8.7	8	7.3	8	
	20	環境への負荷が少ない低炭素社会への転換	1.6	28	0.0	26	2.8	22	2.6	24	1.9	26	1.8	25	1.8	23	
	21	再生可能エネルギーの活用など、新しいエネルギー社会づくり	4.9	18	3.4	20	1.4	28	7.0	15	9.4	8	8.1	11	4.3	16	
22	廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進	2.4	26	0.0	26	4.9	17	0.9	28	0.9	27	1.8	25	1.8	23		
県土安全・安心	23	食の安全確保	5.4	14	4.3	18	6.3	15	2.6	24	6.6	18	5.4	14	5.5	12	
	24	自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	19.1	1	25.6	1	15.5	4	24.6	1	15.0	4	15.5	1	14.9	1	
	25	人やものが行き交う広域交通ネットワークの形成	4.5	19	8.5	13	8.5	13	5.3	18	8.9	9	7.2	13	2.4	21	
	26	安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり	15.0	3	17.1	5	14.1	6	19.3	3	15.0	4	8.4	10	9.1	6	
	27	道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保全管理	6.8	11	14.5	7	10.6	10	11.4	9	8.0	13	9.3	6	3.0	20	
	28	地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全	14.9	4	14.5	7	12.7	8	23.2	2	21.6	2	12.5	3	8.5	7	

(女性・年代別)

県政への要望 [3つ以内で複数回答]	今回調査	性・年代別-女性														
		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上				
		(N=3,001)		(N=130)		(N=212)		(N=249)		(N=237)		(N=377)		(N=378)		
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	
ひと	1	子どもの生きる力を育むきめ細かな教育環境の整備	11.6	7	18.5	5	24.5	4	21.3	3	11.4	9	6.1	10	3.4	15
	2	子どもへの職業教育やキャリア教育の充実	5.2	17	6.2	14	13.7	6	10.4	9	6.3	13	0.0	28	1.1	24
	3	子育て支援サービスの充実や、母子・小児の保健医療体制の整備	11.3	8	26.2	2	37.7	1	18.1	6	11.0	10	5.8	11	2.6	21
	4	仕事と家庭や地域活動との両立を可能にするために必要な制度の充実や、保育所などの社会基盤の整備	12.3	6	27.7	1	32.5	2	19.7	5	13.9	6	4.8	13	6.1	9
	5	障害のある人や高齢者などの暮らしを支える仕組みづくりと活躍の場づくり	12.4	5	14.6	8	5.2	14	11.2	8	23.2	2	13.8	3	13.8	4
	6	在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	17.3	2	15.4	7	8.5	11	14.9	7	28.7	1	22.5	1	26.5	1
	7	健康寿命を延ばすため予防を中心とした健康づくりの推進	6.0	13	4.6	18	5.2	14	2.4	22	6.3	13	9.8	6	7.7	7
地域の活カ	8	文化やスポーツを楽しめるまちづくり	5.4	15	3.1	22	7.5	12	5.2	16	2.5	20	3.2	20	2.9	18
	9	子どもや高齢者など世代を超えた交流を活かす取組	3.4	22	4.6	18	1.9	21	2.0	25	0.8	25	3.2	20	4.2	11
	10	職業訓練や雇用創出など働く場への参加の支援	7.1	10	10.8	10	10.4	9	5.6	13	13.1	7	7.2	8	4.2	11
	11	歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興と滋賀のブランド力の向上	10.2	9	12.3	9	9.4	10	6.0	12	12.7	8	8.0	7	4.2	11
	12	環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	3.3	23	0.0	26	1.9	21	0.8	27	1.7	22	3.7	16	3.7	14
	13	モノづくり産業や、多様なニーズに対応した商業・サービス業の振興	4.5	19	5.4	16	0.5	24	2.4	22	7.2	12	2.4	24	0.5	27
	14	産学官民連携や農商工連携など、相乗効果の高い産業の振興	2.5	25	1.5	25	0.0	26	1.6	26	2.5	20	4.0	15	2.1	22
自然・環境	15	身近なところで自然と触れあえる環境の整備	3.3	24	4.6	18	3.8	17	2.4	22	0.8	25	3.7	16	3.2	16
	16	県民が暮らしの中で琵琶湖をもっと身近に感じる取組	3.9	21	9.2	12	3.8	17	4.0	19	1.7	22	3.7	16	5.3	10
	17	環境学習を通じた環境保全活動や森林づくりなどの担い手づくり	1.6	27	0.0	26	0.0	26	0.8	27	0.8	25	1.1	27	1.1	24
	18	琵琶湖流域をはじめとした水環境や生物多様性の保全・再生	5.3	16	3.8	21	4.7	16	5.6	13	4.2	18	2.1	26	3.2	16
	19	美しい田園や緑豊かな森林の維持	6.7	12	5.4	16	2.8	19	6.4	11	4.6	17	6.6	9	7.9	6
	20	環境への負荷が少ない低炭素社会への転換	1.6	28	0.0	26	0.0	26	2.8	20	0.8	25	2.9	23	0.0	28
	21	再生可能エネルギーの活用など、新しいエネルギー社会づくり	4.9	18	3.1	22	0.9	23	5.2	16	5.1	16	5.6	12	2.9	18
22	廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進	2.4	26	6.2	14	2.8	19	2.8	20	1.7	22	3.7	16	2.9	18	
県土安全・安心	23	食の安全確保	5.4	14	3.1	22	5.7	13	5.6	13	8.9	11	4.5	14	6.3	8
	24	自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	19.1	1	25.4	3	25.0	3	28.5	1	22.4	3	16.7	2	14.0	3
	25	人やものが行き交う広域交通ネットワークの形成	4.5	19	6.9	13	0.5	24	4.8	18	5.5	15	2.4	24	1.1	24
	26	安心して暮らせる地域の防犯・防災体制づくり	15.0	3	18.5	5	17.9	5	20.1	4	17.7	5	13.5	4	16.4	2
	27	道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保全管理	6.8	11	10.8	10	12.3	8	7.2	10	3.8	19	3.2	20	2.1	22
	28	地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全	14.9	4	20.0	4	13.7	6	22.9	2	19.4	4	10.3	5	11.1	5

県の広報の『閲読・視聴・聴取率』と『認知率』



- いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている
- ▨ 読んだり、見たり、聴いたりしている
- ▤ あまり読んだり、見たり、聴いたりしない
- ▦ 知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない
- 知らない
- 不明・無回答